

■山本嘉次郎 映画監督。戦時下にエノケン喜劇で成功を収め、＜敗戦＞後はNHKラジオ番組のレギュラーとしても人気。

やまもと かじろう

教科書疑獄・1902＝ 東京銀座で、親子丼を発明した飲食店の子に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 3歳：

大逆事件判決1911＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝10歳：

大暴落・・・・1920＝18歳： 慶応義塾大学理財科に在学中から映画界に出入りし、岡田嘉子と共演の「真夏の夜の夢」でデビューするが、親から勘当され、手切金で{無名映画協会}を設立、原敬首相暗殺1921＝19歳： 自ら出演するうち、中退して、{日活向島撮影所}に入り、水平社結成・1922＝20歳： 助監督となり、関東大震災・1923＝21歳： {早川プロ}で初の監督作品「十字火の熱球」を発表。

その後には主に脚本家として活躍し、

世界恐慌・・1929＝27歳：

満州事変・・1931＝29歳：

帝人疑獄事件1934＝32歳： {PCL(後の東宝)}に移ってからは監督として活動、

二二六事件・1936＝34歳： 「エノケンのどんぐり鈍兵衛」。

日中戦争始・1937＝35歳： *屈指の傑作「エノケンのチャッキリ金太」はじめ、多くのエノケン喜劇で成功を収めた。

健保+総動員 1938＝36歳： 長谷川一夫の「藤十郎の恋」や高峰秀子を起用した「綴方教室」が評判となり、

日米開戦・・1941＝39歳： *黒沢明を助監督に「馬」を制作し、映画監督としての地位を確立した。

・・・・1942＝40歳： 円谷英二が特技監督をつとめた「ハワイ・マレー沖海戦」を制作、試写会で宮家の激怒を買い、あわや中止というところを公開されてヒット、

年金+総武装 1944＝42歳： 加藤隼戦闘隊」といった戦争スペクタクルにも優れた手腕を発揮した。

敗戦・・・・1945＝43歳：

新憲法公布・1946＝44歳： 食通や随筆家としても知られ、放送開始のNHKラジオ番組{話の泉}のレギュラーとなって人気を得、

新憲法施行・1947＝45歳：

独立回復・・1951＝49歳： 高千穂ひづるのデビュー作「ホープさん」、随筆「カツドウヤ紳士録」から、

TV放送始・・1953＝51歳： 東宝初のカラー映画「花の中の娘たち」を制作して、健在ぶりをアピール。

国連加盟・・1956＝54歳：

安保闘争・・1960＝58歳： この年始まったNHKテレビ番組{それは私です}のレギュラー出演者としても親しまれ、

東京初ピク 1964＝62歳： {話の泉}終わる。

大学紛争始・1965＝63歳：

いざなぎ景気1966＝64歳： 最後の監督作品となった「狸の休日」まで、多数の映画を手がけ、NHK放送文化賞、

美濃部都知事1967＝65歳： 紫綬褒章。

霞ヶ関ビル・1968＝66歳： {それは私です}終わる。

石油ショック1973＝71歳： 随筆「日本三大洋食考」まで、多くの随筆も残して、

角栄金脈辞任1974＝72歳： 脳軟化症を起し肝硬変が重なって没した。

「この人どんな人」、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、